



2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社ほぼ日 上場取引所 東
 コード番号 3560 URL <https://www.hobonichi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼CCO (氏名) 糸井重里
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 鈴木基男 (TEL) 03-5422-3804
 四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の業績 (2023年9月1日~2024年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	5,998	8.7	689	1.5	689	3.0	473	2.9
2023年8月期第3四半期	5,520	17.9	678	99.9	669	89.3	460	91.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年8月期第3四半期	204.25		204.18					
2023年8月期第3四半期	198.63		198.53					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	5,593	4,607	82.4
2023年8月期	5,847	4,200	71.8

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 4,607百万円 2023年8月期 4,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2024年8月期	—	0.00	—		
2024年8月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	8.5	660	11.9	660	12.9	450	9.2	193.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年8月期3Q	2,320,600株	2023年8月期	2,320,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年8月期3Q	430株	2023年8月期	353株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年8月期3Q	2,320,190株	2023年8月期3Q	2,319,712株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確実要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2024年7月12日(金)17時以降、当社ウェブサイト<https://www.hobonichi.co.jp/>に掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社の経営成績は、次の表のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
売上高	5,520,474千円	5,998,306千円	477,832千円	8.7%
営業利益	678,977千円	689,435千円	10,457千円	1.5%
経常利益	669,197千円	689,238千円	20,041千円	3.0%
四半期純利益	460,768千円	473,905千円	13,136千円	2.9%

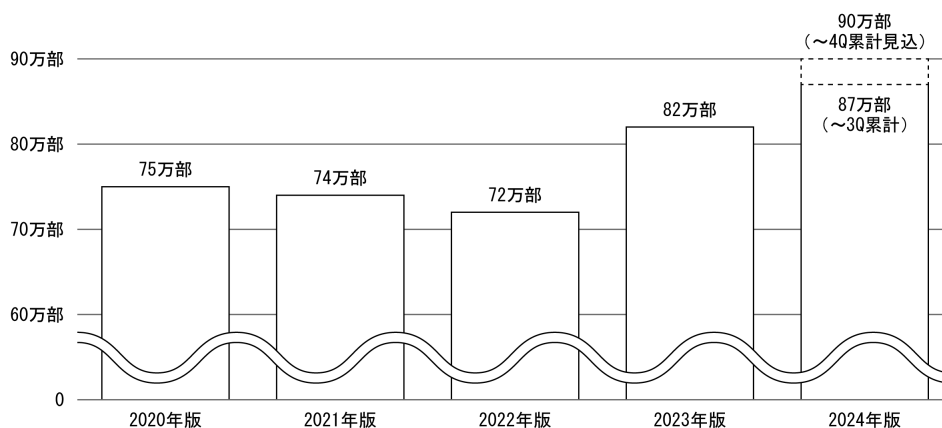
当社は当第3四半期累計期間において、主力商品の『ほぼ日手帳2024』を例年通り2023年9月1日より、4月はじまり版の『ほぼ日手帳2024 spring』を2024年2月1日より販売開始しました。また1月にはより多くの方に商品をお試しいただく機会を増やすために自社ECサイト「ほぼ日ストア」で3年ぶりのセールをおこないました。

『ほぼ日手帳』はこれまでもブランド、IPやアーティストとのコラボレーションを実施してきました。当第3四半期累計期間においては前年も大きな反響があった「ONE PIECE magazine」と引き続きコラボレーションを実施し、1日1ページの手帳本体やカバー、オリジナル文具を発売しました。今後も取組み先と当社の双方が新たなお客様に出会えるような多様なコラボレーションを目指していきます。また、国内ではより多くのお客様の手にとってもらえるように、「ほぼ日ストア」以外の外部ECサイトでの販売を強化しています。

欧米でのほぼ日手帳への関心も引き続き高く、ほぼ日手帳関連のコンテンツやSNSの英語対応の強化、海外での展示イベントの実施により認知の拡大を進めています。2024年版では主に海外に向けた新商品として、『手帳本体オリジナル英語版』や張り手帳タイプの『ほぼ日手帳HON英語版』を発売し、手帳本体のラインナップを拡充しました。また「ほぼ日ストア」に言語、通貨、決済手段の対応範囲を広げるDtoC越境EC向けサービスを導入し、お客様が日常で利用している決済手段で購入できること、関税・税金込みの価格で事前決済が可能になることで、より安心して購入していただけるようになりました。これらの結果、海外売上高の前年同期比は直販上で31.4%増、卸売上で23.3%増と北中米、ヨーロッパを中心に大きく伸長し、『ほぼ日手帳』における海外売上高の構成比率は54.4%(前年同期比5.2pt増)と上昇しました。今後も世界各国での販路の拡大や購入時の利便性向上を推進し、海外売上高の伸長を図っていきます。

結果として『ほぼ日手帳』全体の売上高は国内外ともに手帳本体・カバーが好調に推移し、前年同期比18.3%増(国内6.2%増、海外30.8%増)となりました。当第3四半期累計期間までの2024年版の販売部数は2023年版の総販売部数を超え87万部となり、2001年10月に初版部数12,000冊からスタートしたほぼ日手帳の累計販売部数は1,000万部を突破しました。

『ほぼ日手帳』販売部数推移



手帳以外の商品については、前年同期比5.7%減となりました。セールによる売上増加の一方で、暖冬の影響もありアパレルや寝具などの冬物商品の動きが低調となったほか、前期はさまざまなお買い物企画や催しが集まるコンテンツのフェスティバル「生活のたのしみ展」を4月29日より開催していましたが、今期は開催がないことにより売上が減少しています。次回は2025年1月の開催を予定しています。

これらの結果、総売上高は5,998,306千円（前年同期比8.7%増）となりました。

売上原価については、『ほぼ日手帳』の売上構成比率が上昇した結果、売上原価率40.3%（前年同期比1.0pt減）となりました。販売費及び一般管理費については、新たなジャンルのコンテンツや販路の開拓を目的として行った「大開拓採用」による人員増加の結果、人件費が増加しました。また、海外直営販路での売上増加により販売費用が増加しました。

その結果、当第3四半期累計期間の営業利益は689,435千円（前年同期比1.5%増）、経常利益は689,238千円（前年同期比3.0%増）、四半期純利益は473,905千円（前年同期比2.9%増）となりました。

その他の事業活動として、動画サービス「ほぼ日の学校」（アプリ及びWEBで提供）では、「人に会おう、話を聞こう。」をコンセプトに、新しい学びの「場」をつくることを目指しています。今期はエジプト考古学者の河江肖刺さん、漫画家のあだち充さん、俳優の佐藤二朗さんなどの動画を配信しました。また解剖学者の養老孟司さんを皮切りに「老いと死」をテーマにした特集を年間企画として開始しました。春休みには、植物観察家の鈴木純さんと街なかを一緒にお散歩しながら学ぶ授業や、子ども向けの公開収録も開催し、リアルな交流の場も増やしています。

ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」ではプロフィギュアスケーターの羽生結弦さんと糸井重里の対談「いつ世界が終わっても。」が大きな反響を呼びました。また、「ほぼ日の学校」と連動した養老孟司さんとの対談「生死については、考えてもしょうがないです。」を読みものコンテンツとしても公開しました。ほぼ日のさまざまな商品を生配信で紹介する「ほぼ日LIVEコマァ〜ス」や、LINEアカウントメディアなどの外部媒体でのアーカイブの人気記事の配信、活字以外のメディアでもたくさんの方に楽しんでもらえるように、オーディオブック「聞く、ほぼ日。」の配信など、音声や動画としてのコンテンツ提供にも力を入れています。

渋谷PARCO「ほぼ日曜日」では、スピッツの草野マサムネさんと画家のjunaidaさんが作った絵本『ひみつストレンジャー』の原画展「ひみつストレンジャー展」を開催し、12,000人を超えるお客様にご来場いただきました。また「TOBICHI」では靴やアクセサリなどの販売イベントや原画展などを開催しました。

このように、当社は運営する「場」において、生活のたのしみとなるような「いい時間」を過ごしていただけるよう、コンテンツを作り、編集し届けています。こうしたすべての活動の結果が当社の業績につながっています。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)	前事業年度末比増減
資産合計	5,847,553千円	5,593,286千円	△254,267千円
負債合計	1,647,253千円	986,023千円	△661,229千円
純資産合計	4,200,299千円	4,607,262千円	406,962千円

(資産の部)

流動資産は、3,944,027千円と前事業年度末に比べて416,296千円の減少となりました。これは主に商品の減少864,732千円、売掛金の減少588,714千円、その他に含まれる前渡金の減少42,368千円、現金及び預金の増加1,036,171千円、仕掛品の増加53,062千円によるものです。

有形固定資産は、273,717千円と前事業年度末に比べて17,611千円の減少となりました。これは主に減価償却による減少40,160千円、建物の取得による増加10,219千円、工具、器具及び備品の取得による増加7,769千円によるものです。

無形固定資産は、563,674千円と前事業年度末に比べて145,933千円の増加となりました。これは主に「ほぼ日の学校」などのソフトウェア取得による増加45,516千円、ソフトウェア仮勘定の増加167,112千円、減価償却による減少67,896千円によるものです。

投資その他の資産は、811,865千円と前事業年度末に比べて33,706千円の増加となりました。これは主に投資有価証券の時価評価額の増加54,545千円、その他に含まれる長期前払費用の増加20,501千円、その他に含まれる繰延税金資産の減少41,411千円によるものです。

(負債の部)

流動負債は、748,614千円と前事業年度末に比べて682,255千円の減少となりました。これは主に買掛金の減少765,068千円、未払法人税等の減少74,754千円、賞与引当金の減少36,031千円、その他に含まれる未払消費税等の増加195,657千円によるものです。

固定負債は、237,409千円と前事業年度末に比べて21,025千円の増加となりました。これは主に退職給付引当金の増加20,708千円によるものです。

(純資産の部)

純資産の部は、4,607,262千円と前事業年度末に比べて406,962千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加369,502千円、その他有価証券評価差額金の増加37,389千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

	2024年8月期 予想	2023年8月期 実績	対前期増減率
売上高	7,400百万円	6,818百万円	8.5%
営業利益	660百万円	589百万円	11.9%
経常利益	660百万円	584百万円	12.9%
当期純利益	450百万円	411百万円	9.2%

2024年8月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、2023年10月12日に発表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,373,312	2,409,483
売掛金	845,986	257,272
商品	1,958,322	1,093,590
仕掛品	46,007	99,070
貯蔵品	7,802	-
その他	129,339	85,109
貸倒引当金	△446	△498
流動資産合計	4,360,324	3,944,027
固定資産		
有形固定資産		
建物	337,837	348,056
工具、器具及び備品	175,355	182,410
その他	9,609	11,513
減価償却累計額	△231,473	△268,262
有形固定資産合計	291,329	273,717
無形固定資産		
ソフトウェア	270,571	248,872
ソフトウェア仮勘定	142,596	309,709
その他	4,572	5,092
無形固定資産合計	417,741	563,674
投資その他の資産		
投資有価証券	320,708	375,253
その他	457,450	436,611
投資その他の資産合計	778,158	811,865
固定資産合計	1,487,229	1,649,258
資産合計	5,847,553	5,593,286
負債の部		
流動負債		
買掛金	945,481	180,413
未払金	151,656	155,021
未払法人税等	172,796	98,041
賞与引当金	122,982	86,950
その他	37,952	228,187
流動負債合計	1,430,869	748,614
固定負債		
退職給付引当金	156,880	177,588
資産除去債務	3,975	3,975
その他	55,528	55,845
固定負債合計	216,383	237,409
負債合計	1,647,253	986,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,263	350,432
資本剰余金	340,263	340,432
利益剰余金	3,402,954	3,772,457
自己株式	△1,708	△1,975
株主資本合計	4,091,773	4,461,346
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	108,526	145,916
評価・換算差額等合計	108,526	145,916
純資産合計	4,200,299	4,607,262
負債純資産合計	5,847,553	5,593,286

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)
売上高	5,520,474	5,998,306
売上原価	2,277,723	2,417,951
売上総利益	3,242,750	3,580,354
販売費及び一般管理費	2,563,772	2,890,919
営業利益	678,977	689,435
営業外収益		
受取補償金	1,002	1,089
受取配当金	546	646
保険解約返戻金	1,446	-
その他	847	944
営業外収益合計	3,843	2,679
営業外費用		
為替差損	13,454	2,850
その他	169	26
営業外費用合計	13,623	2,876
経常利益	669,197	689,238
税引前四半期純利益	669,197	689,238
法人税、住民税及び事業税	212,538	190,430
法人税等調整額	△4,109	24,902
法人税等合計	208,428	215,333
四半期純利益	460,768	473,905

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。